

消防団ひねむれ隊、自確な夜に回せい！

南部町役場職員 災害対策本部運営図上訓練を実施！

11月28日㈯、「南部町役場職員災害対策本部運営図上訓練」を実施しました。

訓練は、28日、8時30分、駿河湾を震源とする大規模な地震が発生し、静岡県はじめ関東、甲信、東海、中部の広い地域で激しい揺れに見舞われたことを想定し、南部町地域防災計画や山梨県東海地震被害想定調査に基づき、南部町の特性や近年の大震災の被害状況等を踏まえ、実災害の様相に近似した内容として、活性化セシターに「南部町災害対策本部」を設置。19の災害対策班を編成し、防災機関からなる南部署・南分署・消防団幹部にも参加していただき、実践的かつ緊迫感のある適時状況付与型の訓練を行いました。

まず、初期情報の設定、統制部（状況付与班）と訓練部（プレーヤー）をあらかじめ決めて、各班の役割、情報収集と共有、各自主防災会・地域消防との連携や情報伝達手段、医療応急対策、各地域等からの要請に対する応急対応などを実践形式で行いました。



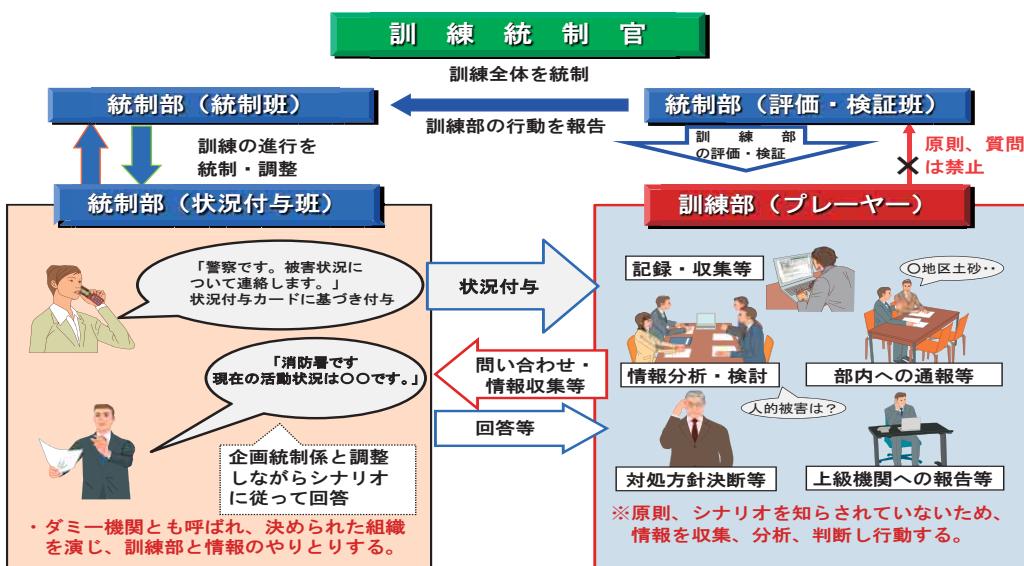
消防団幹部との協議（消防班）

初動対応、人的・建物被害、火災、道路、ライフライン、孤立集落の発生、避難所の状況等、対策本部で把握しなければならない状況は多々あります。

発災直後は、「自助」・「共助」の対応となることが多いと想われます。地域消防・自主防災会を中心とした「自分達の地域は、自分たちで守る」を認識しなければなりません。

町では今後も、職員・住民を対象とした訓練等を実施していく予定です。今後とも皆様の協力をお願いいたします。

訓練のイメージ



災害対策本部会議（本部長からの指示）



情報収集・分析・判断（訓練部）

